

2022 競技者必携 改訂(修正)点

10. 投手板の踏み方・踏み出し方
(P122)



自由足



軸足

◎ 合法

× 不正

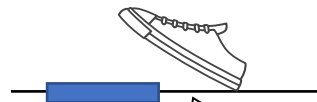
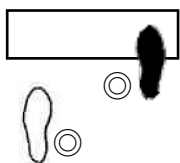
〔右投げ投手〕

【踏み方】

軸足

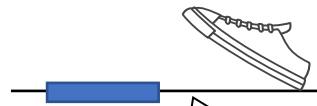
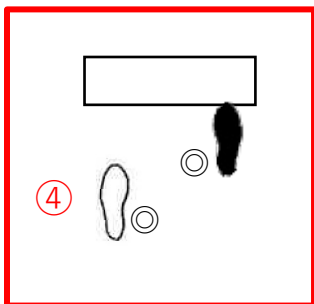
セット時

投球(始動)開始後



踵は接地、ベース上は空間
踵の位置は始動位置と同じ

④
新設



踵は接地、ベース上は空間
踵の位置は始動位置と同じ

図④のように軸足のつま先が投手板に触れながら、自由足を後方に置き、正しくセットしており、一連の投球動作の中で軸足の踵の位置が投球開始時と変わらなければ、軸足のつま先が浮いても、合法的な投球動作であり、不正投球とはみなさない。

2022 伝達講習 その他連絡・確認事項

頭部へのボール接触プレーに対する処置

年少者大会等 死球、打球により頭部にボール接触した場合は即動かさない為、代替選手採用を提案したい。【R4-10項】

【回答】

(試合時間を止めて)時間を使っても現行ルール通り、回復まで待つ。
死球の場合、代替えプレーヤーは認めない。

【追加関連Q&A】

テンポラリーランナーが怪我をした場合についても、現行ルール通り。
正規選手交代のみ。

四球時の打者走者進塁プレー

四球時に打者走者が1塁を通過後、2塁に向かうケースが多発しており、審判員の判断により進塁阻止判断(一連の動作:急にスピードアップせず)に1塁を通過し、2塁に向かった時、1個の安全進塁権等、ルールブックが曖昧表現の為、定義づけを提案したい。【R8-6項14(注1)(注2)(注3)】

【回答】

現行ルール通り、打者走者が一塁で止まらなければスピード強弱に関係なく進塁継続可能との解釈

2022 伝達講習 その他連絡・確認事項

フェイスガード付きヘルメットの使用について

【回答】

現状通り日ソ協へ個人が申請し登録された場合のみ利用可能とする
(用具確認時にチーム又は個人が申請している旨を伝えた場合は、使用させてOK)

来年(令和5年)以降はJSAマーク入り(検定済み)の製品が販売される予定。(2022年度内にミズノ等が販売開始を計画中との事。その為今年度にJSAマークがあるフェイスガード付きヘルメットを利用する選手がいる可能性もある)

その場合はJSAマークがついている製品である事を確認し、使用させてOK。

公認記録員証

昨年度までの記録員証ワッペンが**公式記録員証カード**に変更となりました。ベンチ入り記録員の有資格確認は**記録員証カード**にて実施して下さい。

